

## 助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人フードバンクTAMA

代表者・役職名 氏名 理事長 神山 治之



### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

子どものためのフードバンク

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成28年3月に任意団体としてスタートし、同年9月に特定非営利活動法人フードバンクとして東京都より認証。現在正会員数15名。これまで食品関連企業や流通業者、生産者や個人等から食品を寄贈いただき、35か所の児童福祉施設等に食品を提供してきました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

食品ロスの削減に取り組むとともに、食品を必要としている貧困者、高齢者、子ども等に食品を提供する事業を行うことにより、共生社会実現のために寄与することを目標としています。必要とする食品は、食品関連企業や流通業者、生産者や個人等からの寄贈、またフードドライブの実施による寄贈で集めています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 食品関連企業や流通業者、生産者や個人等から食品を寄贈していただきます。
2. 集まった食品を、自治体や社会福祉協議会と連携の上、福祉施設や子ども食堂等に提供します。
3. 全国フードバンク推進協議会と連携の上、広報活動としてホームページの充実に努めるとともに、定期的に会報も刊行します。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

平成29年7月下旬、立川市と日野市のご家庭約30箇所に様々な食品を詰めたダンボールを送る支援を行うことができました。またいくつかの福祉施設に、そこに集まるお子さんたちのために食料支援を行いました。さらに、日野市のひとり親家庭の子どもを対象とした行事にお菓子の詰め合わせを提供しました。12月には立川市の母子支援施設に集まる子どもたち50名にクリスマスプレゼントとして可愛い袋に詰めたお菓子類を、また、お母さんたちにはお餅やレトルト食品30袋を提供。更に日野市の施設の子どもたちにクリスマスケーキをお届けしました。こうした取り組みに対し、保護者の方々から感謝の言葉がよせられました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

平成29年度の取り組みは大成功でしたので、引き続きこの「子どもプロジェクト」を展開させていきます。平成30年度は更に対象のご家庭を増やす予定です。しかしながら、毎月の個別支援の形をとることから、スタッフの負担増や予算の増大という課題が生じます。この課題については、引き続きしかるべき対策を講じていく所存です。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

## 子ども支援プロジェクト

平成 29 年度の本プロジェクトは、真如苑様の助成を受けて実施しました。



子どもたちにとって、楽しいはずの夏・冬休みですが、その時期になると、給食を食べることができず、普段より体重が減ってしまう子どもたちがいます。

また家庭では、食費や光熱費が増加することで、普段以上に苦しい生活を余儀なくされてしまう現状がある、といえます。

フードバンクTAMAの「子ども支援プロジェクト」は、そのような子どもたちが夏・冬休みを少しでも楽しく過ごせるよう、フードバンクから子どもたちに食品をお届けする取り組みです。

平成 29 年 7 月下旬、立川市と日野市のご家庭約 30 箇所に様々な食品を詰めたダンボールを送る支援を行うことができました。また、いくつかの施設に、そこに集まるお子さんたちのための食料支援を行いました。

また、同年 12 月には立川市の母子支援施設に集まる子どもたち 50 名にクリスマスプレゼントとして可愛らしい袋に詰めたお菓子類を、また、お母さんたちにはお餅やレトルト食品などを詰めた 30 袋を提供。更に日野市の施設の子どもたちにクリスマスケーキをお届けしました。



## 子ども支援プロジェクト報告

フードバンク TAMA は、子どもに焦点を置いた活動を行う目的に基づき、主にひとり親世帯の子どもたちへの食料支援を行うために、平成 29 年夏に「夏休みフードバンク子ども支援プロジェクト」としてスタートしました。

食品のご提供や寄付金をいただきました企業の皆様、また、個人的支援をしていただいた皆様に篤く御礼申し上げます。来年度も引き続き子ども支援プロジェクトを展開していきますので、ご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。

### ～ お母さん方からの声 ～



「今回はじめてでしたが、とても沢山の食品が入っていてとても驚きましたし、とてもありがたかったです。ほどよくジュースやお菓子も入っていて子どもたちがうれしそうでした。自分では普段買わないものもありおもしろかったです。非常食として保存もしていけるので、災害時に備えて少し保存もしておこうと思います。暑い中、本当にありがとうございました。」

「暑い中 自宅にまで届けて頂き、本当にありがとうございました。沢山の食品をいただき大変嬉しく思います。子供達も大喜びでした。そして本当に助かります。お金がなくても子どもに食べさせないというのは、辛くさせたくないの、自分が朝・昼食を食べないのが日常です。自分の意思で食事を摂らないのに、時々イライラしてしまい「ママがご飯も食べず頑張っているのに・・・」と子どもに怒ってしまう事もあります。フードバンクさんに支援をお願いしようと決心した時に今回の話を頂き、本当に感謝しています。」

「ダンボール 1 箱にたくさん食料をいただき、本当にありがとうございます。食欲のある子なのでとても助かります。種類もたくさんあり、夏は麺類とてもありがたいです。食費はいつもかかるものなので、このような機会があれば、いつでも申込みたいと思います。ありがとうございました。」

「いただいた食品が、まるで宝箱を開けるように、皆で楽しみながらいただきました。本当に感謝しきれません。パスタも丁度無くなって買おうとしていた時でした。していただいたことを胸に、いつか他の為に力になれば！という思いで一杯です。子どもたちも大喜びです。本当にありがとうございました。」